

千葉大学医学部附属病院で肺がん手術を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年6月9日

呼吸器外科

呼吸器外科では、早期肺がんの予後に関する所見(STAS)を術前の検査結果から予測する研究を行っており、以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2020年1月1日～2025年12月31日の間に肺がんの手術された方

1. 研究課題名

「肺腺癌における病理学的気腔内進展および肺気腫評価指標との関連および病理学的気腔内進展の術前予測モデル構築に関する後方視的研究」

2. 研究期間

2026年承認日～2028年12月31日

この研究は、附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

肺がんでは、がん細胞が肺の中の空気の通り道や肺胞の中に散らばるように広がることがあります。このような広がり方は「STAS」と呼ばれています。STASは、手術で取り出した肺の組織を顕微鏡で詳しく調べて初めてわかる所見であり、手術後の再発と関係する可能性があることが知られています。しかし、どのような患者様でSTASが起こりやすいのかについては、まだ十分にはわかっていません。

千葉大学病院呼吸器外科では、肺気腫をお持ちの肺がんの患者さんの手術を多く行っています。肺気腫とは、肺の組織が壊れて空気を十分に吐き出しにくくなる病気です。一方で、肺気腫とSTASとの関係については、これまでほとんど研究されていません。

本研究では、当科で肺がんの手術を行った患者さんの臨床情報、画像情報を解析しSTASの予測モデルを作成するほか、術後経過を評価し、その有用性を検討します。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた情報は千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学で解析が行われます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる情報の種類

該当症例において、術前の診療情報（採血、呼吸機能、CT 画像含む）、術後病理所見、治療成績に関する解析を行います。新たに採取する試料はありません。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：呼吸器外科 教授 鈴木秀海

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院呼吸器外科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

呼吸器外科 医員 今林宏樹

043（222）7171 内線 5464